

基調講演

①②③ 人を生かす経営の実践 ～自主・民主・連帯の精神を企業に生かそう～



中同協 副会長
加藤 明彦氏
エイベックス(株)
代表取締役会長 (愛知)

同友会で貪欲に学び、学んだことを素直に自社で実践。経済環境や競合会社という外的要因に左右されない「克ち進む経営」をあるべき姿として描き、自社の強みを追求してきました。また社員の成長こそ企業の発展と位置づけ、社員の潜在能力が発揮される社風づくりにも熱心に取り組んできました。経営者の責任とは「会社をつぶさないこと」、覚悟とは「雇用を守ること」です。これまで社員を費用ととらえず、「人は資産」と位置付けてきました。具体的には、市場創造と人材育成が重要です。全社員で経営指針を更新し、共有していく過程が最大の「社員共育」です。時間をかけて成長してくれた社員がいることが自社の強みとなり、コロナ禍でも会社発展の原動力になっています。

プロフィール

1993年愛知同友会入会。地区会長、共同求人委員長、名古屋支部幹事長、支部長、副代表理事等を歴任、2011年度より代表理事、2016年度より会長、2021年度より相談役理事。

【エイベックス(株)概要】

- 本社/名古屋市瑞穂区内浜町26番3号
- 創立 1949年 ●設立/1953年 ●資本金 1,000万円
- 年商/75億9,000万円(2022年5月現在)
- 社員数/498名(内パート社員235名)(2022年5月現在)
- 事業内容/自動車関連部品(A/Tバルブ、プレーキ、ミッション、エンジン部品) 建設機械部品(高精度小物、精密切削/研削加工部品)
- <https://www.avex-inc.co.jp>



県総会・経営フォーラム
実行委員長
山西 健三
映クラ(株) 代表取締役

実行委員長あいさつ

経営フォーラムは広島同友会の創立記念行事であり、中小企業の経営課題を広く取り上げ、実践的に学べる場です。今年のテーマは「人を生かす経営の総合実践で、企業づくり・未来づくり」です。

2024年6月に一般社団法人として、設立50周年の節目に法人化してから、初めての経営フォーラムです。変えるべきものは何か、変えてはならないものは何か、理念に立ち返って「人を生かす経営の総合実践」「労使見解」について学びを深める。そして支部・地区会を越えて学びあい、「経営実践」につなげていく。企業活動を通じて、社員、社員の家族、取引先、経営者自身、そして地域を幸せにする。

5年、10年先の広島経済の未来をよりよくしていくきっかけになるような経営フォーラムに、実行委員会と参加者の皆様でともに作っていかれたらと思っています。よろしくお祈りします。

タイムスケジュール

- 13:00 開会・開会あいさつ
- 13:15 基調講演 (80分)
- 14:35 移動・休憩 (15分)
- 14:50 分科会
- 18:20 分科会終了
移動・休憩 (20分)
- 18:40 式典・交流会
永年会員表彰
- 20:30 閉会

申込締切 **2024年9月30日(月)**

注意事項

10月1日(火)以降のキャンセルは会費を全額ご負担いただきます。参加申込書にご記入の上、同友会事務局までFAXでお申し込みください。参加申込はe.doyuからも受け付けています。懇親会の定員は500名(先着)になります。本行事の様態を撮影・記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの顔写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら同友会事務局までご連絡ください。

お問い合わせ お申し込み先

- 一般社団法人広島県中小企業家同友会本部・広島事務所 〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ8F TEL. 082-241-6006 FAX.082-241-6007
- 呉事務所 〒737-0046 呉市中通4-4-7 笹兵衛ビル101 TEL. 0823-23-9711 FAX.0823-23-9141
- 福山事務所 〒720-0066 福山市三之丸8-16 福山ニューキャッスルホテルB1F TEL. 084-923-0286 FAX.084-923-0284

経営フォーラム2024参加申込書

区分	会員・会員外	所属支部	第1希望分科会	分科会
会社名			第2希望分科会	分科会
役職		お名前		
経営指針の有無	あり・なし	懇親会への参加	参加・不参加	

第37回 広島県経営研究集会

経営フォーラム2024



日時/2024年**10/11**金 13:00~20:30
会場/リーガロイヤルホテル広島(基調講演・分科会・懇親会)
広島市中区基町6-78
メルパルク広島(分科会)
広島市中区基町6-36

会費/ 全参加(基調講演・分科会・懇親会).....10,000円
基調講演&分科会.....3,000円
見学分科会は別途3,000円

主催/一般社団法人広島県中小企業家同友会・広島県
後援/広島市 福山市 府中市 呉市 尾道市 東広島市 三原市 廿日市市 三次市 安芸高田市

経営フォーラム2024

人を生かす経営の総合実践で、企業づくり・未来づくり
～学びの実践で新たな時代のよりよい企業、よりよい地域へ～



1 第1分科会 テーマ 人を生かす経営の総合実践

基調講演を深める分科会 人を生かす経営を実践しよう!



エイベックス(株)
代表取締役会長
加藤 明彦氏
(愛知)

第1分科会は基調講演の報告者、加藤氏から補足報告を受け、「人を生かす経営」を深めていきます。入社当時、やる気に満ちあふれていた加藤氏ですが、社内の職人は年上ばかり。2代目の加藤氏との間には軋轢が生まれます。そんな時に同友会の共同求人委員会と人を生かす経営に出会います。「人が生きる企業づくり」の実践のためには、大きなPDCAサイクルを描き、会社の成長を確認することが重要と語る加藤氏の実践報告とグループ討論で、「人を生かす経営」を実践するとはどういうことか、具体的に何をどう取り組むのか共に考えていきます。

2 第2分科会 テーマ 経営指針の成文化と実践

同友会で学んだ「人を生かす経営」で日本一をめざす ～成り行き経営からビジョン経営へ～



(株)アール・ツーエス
代表取締役
森 慎吾氏(福岡)

【(株)アール・ツーエス概要】
●設立 2005年10月26日
●資本金 3,000万円
●年商 7億円(連続)
●社員数 268名(うちパートアルバイト228名)
●事業内容 要介護者および障がい支援区分認定調査の受託
介護保険適正化事業

●https://r2s.co.jp/
●会内役職 福岡同友会 経営労働委員長

創業当初は事業計画もビジョンもなかった(株)アール・ツーエス。現在、支店も社員も大幅に増えましたが、ここに至るまでには、経営計画発表会を開催しても「無反応」というつらい現実を何年も経ました。キーワードは「社員目線」。会議のやり方、理念の改訂、事業ドメインの変化など、あらゆることを社員と共に、ビジョンを描く事で進めています。

3 第3分科会 テーマ 地域づくり

地域で人を育み、地域に人を残す 2つの実践事例から持続可能な地域づくりを考える



(株)タテイシ広美社
会長
立石 克昭氏

【(株)タテイシ広美社概要】
●設立 1977年7月
●資本金 1,000万円
●年商 14億3,000万円
●社員数 110名
●事業内容 LED(発光ダイオード)を使った電光掲示板、看板、ライトパネルをオーダーメイドで製作。企画・提案から設計、製作、施工、メンテナンスまでを自社で一貫して手掛け、低コスト、短納期を実現。

●https://t-kobisha.co.jp/
●会内役職 広島同友会代表理事



(株)EVENTOS
代表取締役
川中 英章氏

【(株)EVENTOS概要】
●設立 1988年10月1日
●資本金 4,000万円
●年商 4億8,000万円
●社員数 55名(正規社員33名)
●事業内容 各種ケータリングサービス、飲食(5店舗)、ワインショップ(2店舗)、産直市場(1店舗)、地域活性化

●https://www.eventos.co.jp/
●会内役職 中同協共同求人委員長

持続可能な地域づくりのためには、雇用の場をつくり、若者が働き定住するということが大切になります。子どもたちが地域でも働くことができるという選択肢を持てるように義務教育学校と関わる立石氏、農業とレストランの連携で地域ににぎわいをつくれた結果、定住者が増えるという川中氏の実践から、「地域で人を育み、地域に人を残す」という具体的な取り組みについて考えます。

4 第4分科会 テーマ 環境経営/SDGs

トップダウン経営から、人を生かすSDGs経営へ ～誰一人取り残さない経営の実践～



(有)藤岡保険コンサルタント
代表取締役社長
藤岡 徹也氏

【(有)藤岡保険コンサルタント概要】
●設立 1979年9月1日
●資本金 300万円
●年商 5,300万円
●社員数 7名
●事業内容 損害保険・生命保険代理業

●https://hiroshima-fp.com
●会内役職 広島西支部環境経営委員長

31歳で2代目社長に就任。会社は順調に成長を続けるも、いわゆるトップダウン経営者であった藤岡氏。2018年(38歳)に突然の病に倒れ長期療養を余儀なくされます。自らの病やコロナ禍の中で、己と向き合い気付いたこと、それは「自分一人だけの力では、持続可能な事業経営は成り立たない、人は皆支えられて生きている」ということでした。「同友会活動の精神は、人を生かすSDGs(持続可能な開発目標)そのもの」と語る藤岡氏。新時代を生きぬく社会課題に貢献できる「人づくり経営」とは何か?そのヒントを藤岡氏の半生と実体験から学びます。

5 第5分科会 テーマ 事業承継(受け継ぐ側)

温故知新! バトンを受け継ぎ、夢をカタチに ～同友会活動を通じた自己変革～



平和建設(株)
代表取締役常務
岡田 一真氏

【平和建設(株)概要】
●設立 1949年6月28日
●資本金 3,000万円
●年商 16億5,200万円
●社員数 46名
●事業内容 総合建設業(土木・建築工事の企画、設計、施工) 宅地建物取引業

●http://www.heiwakensetsu.co.jp/
●会内役職 福山支部青年部会 副部長

当分科会は、同友会活動を通じた個人的な変革を振り返り、内発的努力と外部支援の必要性を「啐啄同時」という考えを用いて報告します。岡田氏のめざすのは、「夢を形にする」企業の創造であり、これは社員とその家族が共に成長し、顧客ニーズに応えることです。岡田氏は、後継者の立場から、将来的なビジョンの重要性についても報告します。特に、バトンを受け取る者、渡す者、変革を望みつつも踏み出せない者、ビジョンの必要性に疑問を持つ者など、多くの参加者が抱える課題に対して、変化を促すキッカケとなる分科会をめざします。

6 第6分科会 テーマ 事業承継(渡す側)

中小企業を取り巻く環境 人を活かす経営の実践 理念とビジョンを共有した事業承継



(株)C&Eコーポレーション
代表取締役
名越 鉄治氏

【(株)C&Eコーポレーション概要】
●設立 1995年3月10日
●資本金 1,000万円
●年商 3億5,000万円
●社員数 78名(うちパートアルバイト59名)
●事業内容 焼肉店(楽群、楽月)、高級弁当事業、出張BBQ事業の運営

●http://c-and-e.co.jp/

中小企業において事業が継続出来ない理由の一つに後継者が不在という問題点があります。なぜ継承しないのか?継承したいと思う会社になっているのか。会社の理念とビジョンが明確になっているか。10年先にどんな会社になっているのかという目標が明確な会社ほど継承者も引き継ぎたい会社と言えます。この度、事業継承をされるC&Eコーポレーションでの体験報告は次期後継者にも聞いて欲しい事例です。

7 第7分科会 テーマ 学びと実践

学んだだけで満足してませんか?実践なくして成長なし 社員と衝突しながら実践し続けた5年間



(株)K鉄工業
代表取締役
近藤 亮二氏

【(株)K鉄工業概要】
●設立 2019年7月5日
●資本金 500万円
●年商 1億3,000万円
●社員数 10名
●事業内容 建築現場・土木現場のコンクリートの骨組みになる鉄筋工事一式

創業者の近藤氏は経営を一から学ぶために同友会へ入会します。経営とは何なのか、社員の自発性を発揮させるためにはどうすれば良いのか、学んだことを素直に実践していくことで、少しずつ会社は良くなりました。しかし最初から順調に成長を続けていたわけではありません。時には会社の方向性をめぐり社員と衝突することも…。そんな中でも社員から目を背けず、諦めず実践を続け、今では社員数・売上が創業時の2倍になりました。福山支部が2年に一度開催している「輝け!経営者大賞」で昨年度の大賞を受賞した近藤氏の経営体験報告です。

8 第8分科会 テーマ 学びと実践

四代目どん底奮闘記 ～自社分析がもたらした奇跡の日本一～



(有)I WILL
代表取締役
安達 亮氏

【(有)I WILL概要】
●設立 1935年10月8日
●資本金 700万円
●年商 6,400万円
●社員数 11名(内パート9名)
●事業内容 フォトスタジオ・ダンススクール・ダンスイベント事務所

●https://studio-i-will.com/

三原を拠点に写真スタジオなどを経営している4代目社長の安達氏。同友会に入る前は仕事が忙しくてなぜか手元にお金がないという経営状況が続いていました。自社を振り返るには内部環境分析をすると良いと知り、社員全員で自社分析を行い、それを経営指針にまとめました。「世界に笑顔の花を咲かばよう」を理念に掲げました。経営指針を成文化し、社内の危機を克服し、スタッフ一致団結!その証として、フォトスタジオアワード2022で、優勝!「日本の写真館No.1」になった安達氏の奮闘から、経営指針の大切さを学びます。

9 第9分科会 テーマ 見学分科会

『エディオンピースウイング広島』見学会&ミニ対談! 日本初のまちなかスタジアムを見学できる! (参加費別途3,000円) 定員100名(先着順)



(株)サンフレッチェ広島
CRM 森崎 和幸氏
又は アンバサダー 森崎 浩司氏、
(有)関谷モーターズ 下高 賢士氏(広島東)

【(株)サンフレッチェ広島概要】
●設立 1992年4月24日
●所在地 広島市中区基町15番2-1号
●https://www.sanfrecece.co.jp/

エディオンピースウイング広島の名には「恒久平和と、夢や希望を持って明るい未来へ羽ばたく」との願いが込められています。日本初の都心交流型スタジアムパークとして、試合日以外もスタジアムと様々な施設や多目的機能を融合させ、365日のにぎわいを作ることをめざしています。日本初の「まちなかスタジアム」見学後は、サンフレッチェ広島で元日本代表の森崎和幸CRMまたは森崎浩司アンバサダーと同友会イチ、サッカーを愛する男、(有)関谷モーターズ 下高賢士氏(広島東)がスポーツビジネス論で対談。新スタジアムの魅力や経営論について語ります。